

サステナビリティに配慮した投資方針

日本アジア投資株式会社

日本アジア投資株式会社及びその子会社(以下「当社グループ」)は、「サステナビリティに配慮した投資方針」として下記に記載の投資方針を定め、持続可能な社会の発展に貢献する企業やプロジェクトに投資(当社が無限責任組合員等として運営する組合等からの投資を含む)を行い、投資案件に関わる全てのステークホルダーとともに持続的に成長していくことを目指します。

この投資方針は、人的資本や多様性に関する課題を含む、環境・社会問題の解決に向けた取り組みを支援する投資の推進と、負の影響を及ぼす可能性のある特定のセクターに対する制限事項や禁止事項等を定めます。

1. 決裁プロセス

投資の決裁権限者は、「サステナビリティに配慮した投資方針」に従い、環境・社会に配慮したうえで投資案件を検討します。その際に、投資先の企業やプロジェクトの収益性や将来性、成長性、安定性などの評価に加え、人的資本や多様性に関する課題を含む、環境・社会の課題に対する取り組みについても評価したうえで、投資委員会にてその内容やリスク判断をもとに決裁を行います。

2. 環境・社会問題の解決への取り組みを支援する投資の推進

社会のサステナブルな発展に貢献する投資を通じて、投資先の企業やプロジェクトの環境・社会問題の解決への取り組みを支援します。

3. 環境・社会に対し負の影響を及ぼす可能性のある特定セクターへの投資方針

環境・社会に対し負の影響を及ぼす可能性のあるセクターを特定し、その特定セクターで事業を行う企業あるいはプロジェクトに対する投資方針を定めます。なお、特定セクターへの該当の有無にかかわらず、法令違反、国際的な環境や人権に関する規範・条約に反する行為、公序良俗に反する行為、および間接的にそれらを幫助する事業を行う企業やプロジェクトに対する投資は行いません。

(1) 特定セクター

① 兵器・武器の開発、製造の事業

クラスター弾、対人地雷、生物・化学兵器、核兵器などの非人道的兵器を含む兵器・武器の開発、製造を事業とする企業やプロジェクト

② CO₂ の排出量削減施策を伴わない石炭火力発電等の事業

発電効率性能や環境への影響の改善を伴わない石炭火力発電等を事業とする企業やプロジェクト

③ 森林伐採事業および森林伐採を伴う事業

違法伐採や、環境への負荷などの社会問題が起こりうる森林伐採を事業とする企業やプロジェクト、およびそのような森林伐採を伴う事業を行う企業やプロジェクト

(2) 投資方針

① 投資制限

特定セクターに対する投資検討の際には、投資候補先の企業あるいはプロジェクトの、環境・社会への影響と配慮の実施状況、ゼロエミッション、ゼロカーボン、カーボンニュートラルへの取り組みと効果を確認のうえ慎重に投資判断を行います。

② 投資禁止

上記①に関わらず、特定セクターのうち①兵器・武器の開発、製造をする企業あるいはプロジェクトに対しては、投資を行いません。

投資禁止への該当が疑われる投資については、投資委員会が取引の可否を判断します。

4. ガバナンス

(1) 制定・改廃

当方針の制定・改廃は、取締役会の決議により行います。

(2) 運用

取締役会は、当方針の運用状況を定期的に監督し、適宜見直しを行います。

以上

2024年6月24日制定